

## 【米国】

# 米国国防総省の「米国議会に対する年次報告」にみる米国の対中軍事スタンスと今後

徳 玲希 ワシントン国際問題研究所研究員

## 1. 米国のエンゲージメント戦略

2018 年 5 月、米国国防総省は米国議会に対する年次報告書において、米国は米国の対中国、軍対軍コンタクトとして「米国のエンゲージメント戦略」を示している。

主なものとして

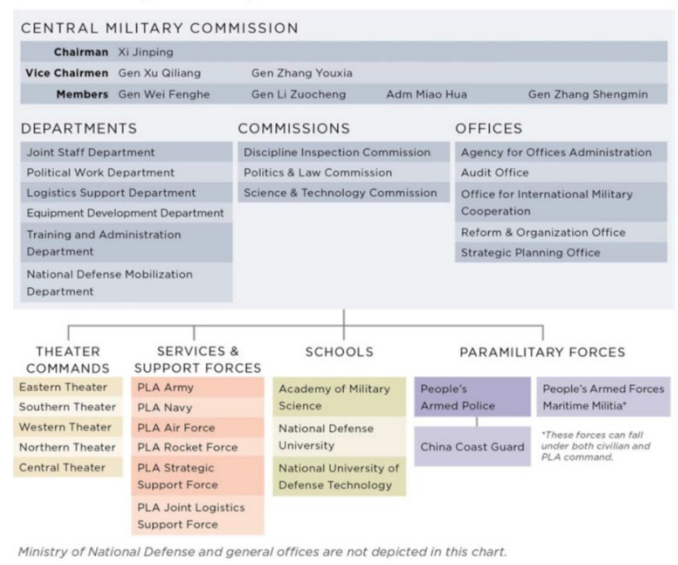
- 国防総省による中国へのエンゲージメントとは米国の中国に係る米国政策と戦略全体の支援である。
- 国防総省の中国人民解放軍との軍対軍のコンタクトとしては、次の 3 つの相互連結された努力ラインである。
  - (1) 持続的かつ実質的な対話を構築する。
  - (2) 誤解や誤算の可能性を減少させるリスク削減とリスク管理の推進を促進する。
  - (3) 相互に関心のある分野における具体的で実践的な協力を構築する。

の二点を掲げつつ、

中国との建設的で結果重視の関係を追求することは、インド太平洋地域における米国戦略の重要な部分であり、米国国防総省は、米中の軍事関係が、リスク低減の強化と米国とその同盟国及びパートナーの利益を最大限に享受する方法の発見を通じて、二国間関係全体にとって安定した要素であることを確保しようとしている。

また、軍対軍の関係は、中国が国際法や規範に合致した行動をとるよう求めている<sup>1</sup>。  
としている。

China's Military Leadership



【中国軍事リーダーシップ一覧 2】

## 2. 2017 年における米中軍対軍交流

2017 年における米中軍対軍交流については以下の通りとなっている。

### 【ハイレベルの訪中】

8 月 Chairman of the Joint Chiefs of Staff

### 【ハイレベルの訪米】

9 月 Southern Theater Commander

11 月 Deputy Chief of the Joint Staff Department

### 【定期的交流】

1 月 Defense Policy Coordination Talks in China

6 月 Diplomatic and Security Dialogue

5/11 月

Military Maritime Consultative Agreement Working Group in China and the Plenary in the

United States

11月 Army-to-Army Dialogue Mechanism

11月 Joint Staff Dialogue Mechanism

12月 Asia Pacific Security Dialogue

#### 【アカデミック交流】

2月 U.S. Air War College Delegation to China

4月 U.S. National War College Delegation to China

4月 PLA Air Force Command College to the United States

5月 U.S. Marine Corps War College Delegation to China

5月 U.S. National Defense University CAPSTONE to China

11月 PLA Academy of Military Science Delegation to United States

#### 【機能的交流】

6月 USN Ship Visit (USS STERETT) to China

6月 Peacekeeping Center Exchange to China

11月 Disaster Management Exchange in the United States

#### 【合同多国間演習】

7～8月 KHAAN QUEST in Mongolia 3

### 3. 米国の対中軍事スタンス

個別に趣旨を見てみると、

「ハイレベルの相互訪問や関与」については、

ハイレベルのコンタクトは、国際的な安全保障環境に関する意見交換、共通の関心分野の特定、相違の管理、共通の課題への共通のアプローチの促進に重要な手段であり、議論は、軍事協力の分野と差別的に取り組まれた分野に焦点を当てている。

「定期的交流」については、

定期的な制度化されたイベントは、毎年米中の防衛討論の中核をなし、リスク低減や実践的な協力など、戦略的及び政策的レベルでの対話のための規則的な仕組みとして機能している。

「機能的・アカデミック交流」については、

リスク低減、理解促進、及び衝突防止と調整を促進するためのコミュニケーションチャンネルであり、機能的士官、将来のリーダー、専門軍事教育機関を含む相互交流は、新たな協力分野を特定・探求し、相違点を討議し、より複雑で重要な関係を処理する知識と熟練を備えた世代のリーダーを育成するために役立ち、中堅士官の接触を増やすことは、将来の

指導者間の親密性と相互理解を築くために、両軍隊にとって重要な目的である。

「寄航と演習」については、

両国間の信頼関係を促進し、捜索救助 (SAR)、HA / DR、対海賊行為など相互に関心のある分野で国際公共財を提供する際の相互作用と調整能力を向上させる。寄航は、運用上の安全性を高め、通信とナビゲーションプロトコルを実行するためにも使用されると位置付けている<sup>4</sup>。

これらを見ると米国の対中軍事スタンスは、中国が国際法や規範に合致した行動をとるよう求めつつ、米国とその同盟国及びパートナーの利益を最大限に享受する方法を発見することを念頭に、ハイレベルにおける対話を通じ安全保障に関する意見交換や協力可能分野の模索等を行い、その他レベルにおいては、人的、アセット的交流・演習を通じ、現場におけるリスク低減のためのメカニズムや人的相互理解の促進を図るという、「リスク低減重視」のアプローチのスタンスを取っていることが伺える。

### 4. 米中の最近の動向

さて、米国の最近の動向でいえば、ロイターが、2019年3月1日、ポンペオ米国務長官が米朝首脳会談後に訪れたマニラにおける記者会見にて、「同盟国であるフィリピンが攻撃を受ければ1951年の米比相互防衛条約に従うことになる」としたほか、安定の脅威として中国を名指しした<sup>5</sup>。」とし、その内容として「中国の南シナ海における島造成と軍事活動はあなた方 (フィリピン) および米国の主権、安全保障ひいては経済生活を脅かしている」と説明した上で、「南シナ海においてフィリピンの軍、航空機、公船に対する武力攻撃があれば相互防衛義務が発動される」とした<sup>6</sup>。」と報じている。

また、軍事的アクションに関して、2019年3月6日付でCNNは、「米軍の戦略爆撃機「B52」が4日、中国の軍事拠点化が進む南シナ海上空を飛行した<sup>7</sup>。」「米領グアムのアンダーセン空軍基地からB52の2機が出発し、1機は南シナ海付近で訓練飛行を実施してグアムへ戻った。もう1機は日本付近で米海軍、航空自衛隊との共同訓練に参加した。いずれも、米軍が従来から太平洋地域で爆撃機の配備を維持してきた長期的作戦の一環で、国際法には違反していないという。米軍は南シナ海付近で定期的に爆撃機を飛行させ、中国がかねて神経をとがらせているが、核搭載可能なB52による飛行は昨年11月以来だった<sup>8</sup>。」と報じている。

一方で、中国の最近の動向でいえば、2019 年 3 月 5 日、全国人民代表大会が開会している。

メディアでは、「李克強首相は 2019 年 3 月 5 日に開会した全国人民代表大会（全人代＝国会）の政府活動報告で、軍事面の技術革新や実戦的な訓練の水準向上を打ち出し、安全保障面でも摩擦が強まる米国への対抗意識をにじませた」と報じられている。

また、「5 日に公表された中国の 2019 年の国防費の予算（中央政府分）は、経済が減速する中で拡大のペースを維持した形だ。20 兆円に迫る規模は米国に次ぐ世界第 2 位。今世紀半ばまでに「世界一流の軍隊」を目指す習近平指導部の「強軍」路線が改めて鮮明になった。

予算額は前年実績比 7.5%増の 1 兆 1898 億元（約 19 兆 8000 億円）。4 年連続で 1 桁の伸びとなったが、依然として経済成長率を上回り、予算規模は米国の 4 分の 1、日本の 4 倍に迫る。00 年（約 1210 億元）から見れば 10 倍程度の急増となる 10。」とその国防費予算の拡大について報じられており、注目される。

なお、先に触れた米軍の戦略爆撃機の南シナ海上空飛行は中国の全国人民代表大会の前日に当たる点についても着目しておきたい。

## 5. まとめ

経済面での米中貿易摩擦に加え、南シナ海における海軍艦船同士の接近、今般の戦略爆撃機の飛行に見られるように、安全保障上でも緊張が高まりを見せる米中関係という背景がある中、今般の中国の全国人民代表大会に関して報じられたような、国防費予算拡大を続ける中国に対し米国が今後どのような対中軍事スタンスで対応していくのが注目される。

## 【引用・参考文献、出典資料】

（以下（全て online）から抜粋引用・参照。訳は筆者による。）

- <sup>1</sup> Department of Defense “Annual Report to Congress” P105. Accessed November 5, 2018. <https://media.defense.gov/2018/Aug/16/2001955282/-1/-1/1/2018-CHINA-MILITARY-POWER-REPORT.PDF>
- <sup>2</sup> Department of Defense “Annual Report to Congress” P4. Accessed November 5, 2018. <https://media.defense.gov/2018/Aug/16/2001955282/-1/-1/1/2018-CHINA-MILITARY-POWER-REPORT.PDF>
- <sup>3</sup> Department of Defense “Annual Report to Congress” P126. Accessed November 5, 2018. <https://media.defense.gov/2018/Aug/16/2001955282/-1/-1/1/2018-CHINA-MILITARY-POWER-REPORT.PDF>
- <sup>4</sup> Department of Defense “Annual Report to Congress” P106-109. Accessed November 5, 2018. <https://media.defense.gov/2018/Aug/16/2001955282/-1/-1/1/2018-CHINA-MILITARY-POWER-REPORT.PDF>
- <sup>5,6</sup> ロイター、米国務長官、南シナ海でのフィリピン防衛を約束 中国を名指し <https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190301-00000079-reut-cn> Accessed March 6, 2019.
- <sup>7,8</sup> CNN, 米軍の B 5 2 爆撃機、南シナ海上空で訓練飛行 March 6 2019 <https://www.cnn.co.jp/usa/35133753.html> (Accessed March 14, 2019)
- <sup>9,10</sup> 毎日新聞, 中国全人代 「強軍」路線鮮明に 台湾問題などで米国を意識, March 5 2019 <https://mainichi.jp/articles/20190305/k00/00m/030/197000c> (Accessed March 19, 2019)